

司教ら9人殉教75周年

式典に深水神父、池長大司教の書簡読む

オランダ

戦時中に中国・河北(ホーペイ)省の正定(チョンティン)で旧日本軍に殺害されたオランダ人司教と司祭ら計9人の殉教運動が進んでいる。その一人は新潟知牧区(現・新潟教区)の第2代知牧区長の兄弟に当たる。10月13日と14日にはオランダで殉教75周年を記念する式典があり、日本からも深水正勝神父(東京教区)が参列した。

旧日本軍が中国で殺害

9人はフランス・シュラウエン司教(聖レンセンシオの宣教会)と、主同会会クロアチア、フランス、オランダ、ポランド、スロバキア出身者。司祭、修道士、信徒がおり、厳律シトー会(トラピスト)の神父1人も含まれる。

その中でもトマス・チエスカ神父(聖レンセンシオの宣教会)は第2代新潟知牧区長、アントン・チエスカ神父(1877〜1941年)は神言修道会(の兄弟に当たる。式典はまずシュラウエン司教の誕生日でもある13日午後、ドイツ国境近くのパンニンゲンにある聖レンセンシオの宣教会オランダ管区本部で、



オランダのブルクハイゼンフォルストの教会で行われた殉教75周年の式典で

9人の殉教を描いたマンガ伝記の贈呈式があった。同書はA4判ほどの大きさで約50ページ。数カ国語で発行され、マンガで同司教の足跡を紹介している。

14日には約20キロ北にあるシュラウエン司教の故郷、ロットウムに近いブルクハイゼンフォルストの古い教会で行われた。

まず9人の肖像を掲げた各国の司教らが入堂。教皇庁福音宣教師の次官で香港出身の韓大輝(ホン・タイフイ)大司教が主司式した。

の池長潤大司教の書簡を代読。日本による事件への謝罪の意を示し、列福運動のために祈ることを伝えた。

同教会では協賛壇に殉教を表した壁画を描き、記念礼拝堂とした。そこに9人の肖像画とシュラウエン司教の遺灰を安置、池長大司教の書簡も拡大して枠に収め、掲げられた。

深水神父は「行ってよかったと思います」と振り返る。「事件のことは知りませんでした。中国では同様の出来事がもつとあったのではないでし

池長大司教からの書簡を代読する深水神父



ようか。終戦から70年近くたち、日本の教会がで

るべきではないでしょうか」と話していた。

同神父は故白柳誠一枢機卿と共に中国を何度も訪問した。またインドネシアにおけるオランダ人

戦争被害者との和解にも関わってきた。

軍の調査に司祭同行

欧州に残る資料によると、9人は1937年10月9日、正定に入った日本軍が教会施設にいた避難民の中から200人の女性(少女を含む)を引き渡すよう求めたことに抵抗したため、目隠しされて首にロープを巻かれ、トラックで約300

告知板

東京

▼星野富弘 花の詩画展inお茶の水「いのちより大切なもの」前期11月2日(金)〜12月30日(日)、後期1月4日(金)〜3月2日(土)午後11時(日曜正午)〜午後7時、OCCビル5階(千代田区)。一般学生五百円(中学生以下無料)。☎〇三三三4一六九一一

▼顧問司教・高見三明大司教による第1回NCK(日本カテキスタ会)カテキズムを「学ぶ会」11月6日(火)午後1時〜2時30分、幼きイエスの会ニッパ・バレル修道院105号会議室。対象NCK会員、通信購読者、信仰養成講座参加者、カテキズムを学びたい方。五百円。定員50人。要申込。☎〇六六468六二五八 NCK事務局

▼講演会「大切な人の死を、子どもたちにどう伝えるか」11月10日(土)午後2時〜4時30分、全水道会館4階大会議室(文京区)。講師「ドナ・シャーン(ダギー・センター所長)。通訳あり。対象災害・事故・自死・病氣など大切な人との死別を体験した子どもとその家族に関わる人、関心のある人。無料。定員150人。要申込。名前、連絡先、参加人数をファクス(☎〇三三三26一四九三〇)か電子メール(office@iaokur-center.or.jp)に。

▼外国人と共につくる教会を考える連続セミナー「2012 みんなでつくるみんなの教会」第4回 山浦玄嗣講演会「そなだもおれも

司教で枢機卿にもなった田口芳五郎神父(当時は東京教区)も同行している。

田口神父は訪問の様子を「日本カトリック新聞」(本紙の前身)や「カトリック画報」で詳しく報告しているが、9人の死については触れていない。

ところが欧州側の資料では、横山少佐は殉教した9人のために天津の司教を招いて同年11月22日、正定で追悼のミサをささげている。田口神父は司式者の補佐をし、日本軍関係者約30人(うち

高官が3人)も参列。日本軍幹部の弔電も届き、聖堂で読まれたという。

防衛省には横山少佐が事件の真相と現地での交渉経過について報告したとの記録が残っているが、内容は分かっていない。一方、欧州の資料は、同少佐が「彼らは本

当にキリスト者の愛の証し人だった」と語り、北京の教皇使節に送った書簡の中でも「彼らは自らの宣教の理念のために殉教した」と記している。

なお中国の正定教区は現在、地下教会の強い地域として知られている。

聖人の暦

11月8日

福者ヨハネ・ドゥンス・スコトゥス司祭

(1265年ごろー1308年)



この教会博士は、当時の英語圏の偉大な哲学者と神学者の一人。

キリストの光 光のキリスト

年間第31主日

11月4日(マルコ12:28b-34)

「ハイ、短歌を詠んでいます」「詠まれた短歌、拝見させていただきますか?」

さまざまな出会いがあった。振り返ると、どの人も心やさしき人ばかり。神のみもとへは帰りたい、しかしこの世にも

思い。

《どの人も心やさしき人》。あの方から、私たちは一人一人すべてがこのように